弓削商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	国語
科目基礎情報					
科目番号	0046		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電子機械工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	『日本語表現&コミュニケーション』(実教出版)				
担当教員	八原 瑠里				
到達目標					
<p>実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。 報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。 収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。 報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。 作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。 相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。 新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
体裁・語句の選定	実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	実用的な文章(手紙・メール)を、ある程度、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できない。		
適切な情報収集	報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	報告・論文の目的に応じて、ある程度、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できない。		
情報分析と整理	収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	ある程度、収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	収集した情報を分析し、目的に応じて整理できない。		
論理構成と展開	報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	ある程度、報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成できない。		
口頭による伝達	作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、ある程度、正確に口頭発表することができる。	作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、口頭発表できない。		
相互理解	相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	ある程度、相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめるできない。		
学科の到達目標項目との関係					
教養 D2					
教育方法等					
概要	社会人に必要な「書くこと」「話すこと」を中心に、社会人基礎力の養成を行う。				
授業の進め方・方法	<p>基本的には、教科書にしたがって進める。ただし、内容の難度、学生の理解度によって変更もありうる。 また、昨年度から引き続き使用する「漢字練習ノート」や「国語表現ナビ」を用いて、漢字と言語表現の学習を進める。</p> <p>※ 必要に応じて、新聞記事・SPI問題・映像資料・新国語便覧を用いる。</p>				
注意点	授業には、教科書、副教材、ノート(ファイル)、電子辞書等を必ず持参すること。 上記の予定で授業を進めていくが、変更する場合もある。				
実務経験のある教員による授業科目					
授業の属性・履修上の区分					
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 話す力 自己紹介をしてみよう	授業の準備方法や進め方、評価の基準について把握する。	
		2週	書く力 1. よみやすく漢字を交ぜよう 2. 句読点のはたらきを知ろう	文章を書く上での留意点を理解し、それを踏まえて自分の考えを言語化できる。また、他者の意見を傾聴し、感想を述べられる。	
		3週	書く力2 1. 和語・漢語・外来語	文章を書く上での留意点を理解し、それを踏まえて自分の考えを言語化できる。また、他者の意見を傾聴し、感想を述べられる。	
		4週	書く力3 言葉をグループで考えよう	文章を書く上での留意点を理解し、それを踏まえて自分の考えを言語化できる。また、他者の意見を傾聴し、感想を述べられる。	
		5週	書く力4 書いた文を見直そう	文章を書く上での留意点を理解し、それを踏まえて自分の考えを言語化できる。また、他者の意見を傾聴し、感想を述べられる。	
		6週	書く力5 別の言い方で考えよう(慣用句)	文章を書く上での留意点を理解し、それを踏まえて自分の考えを言語化できる。また、他者の意見を傾聴し、感想を述べられる。	

後期	2ndQ	7週	書く力6 改まった表現で書こう	文章を書く上での留意点を理解し、それを踏まえて自分の考えを言語化できる。また、他者の意見を傾聴し、感想を述べられる。
		8週	中間試験	
		9週	書く力7 手紙の基本をマスターしよう	手紙を書く上での留意点を理解し、それを踏まえて自分の考えを言語化できる。また、他者の意見を傾聴し、感想を述べられる。
		10週	書く力8 手紙を書こう	手紙を書く上での留意点を理解し、それを踏まえて自分の考えを言語化できる。また、他者の意見を傾聴し、感想を述べられる。
		11週	話す力 しっかりとあいさつしよう 改まった話し方をしてみよう	挨拶の知識を習得し、それを応用できる。
		12週	話す力 敬語をマスターしよう	正しい敬語力を身につけ、応用できる。
		13週	話す力 敬語をマスターしよう	正しい敬語力を身につけ、応用できる。
		14週	話す力 敬語をマスターしよう	正しい敬語力を身につけ、応用できる。
	15週	通知文を書こう	通知文を作成することができる。	
	16週	期末試験		
	3rdQ	1週	伝える力 話を聞く、わかりやすく伝える	情報を要約し、他者に伝えることができる。
		2週	伝える力 キーワードを説明する①	キーワードの定義づけをし、それを他者に伝えることができる。他者の定義づけを聞き、自分との類似点や相違点を言語化できる。
		3週	伝える力 キーワードを説明する②	キーワードの定義づけをし、それを他者に伝えることができる。他者の定義づけを聞き、自分との類似点や相違点を言語化できる。
		4週	伝える力 根拠と出典を示す①	主張に対する根拠を明記することができる。出典の表記と引用の方法を理解し、応用できる。
		5週	伝える力 根拠と出典を示す②	主張のうち、事実と意見を分類することができる。出典の表記と引用の方法を理解し、応用できる。
		6週	伝える力 表やグラフを読む・描く	表やグラフを正しく読み取ることができる。表やグラフを正しく書くことができる。
7週		伝える力 表やグラフを読む・描く	表やグラフを用いて自分の意見を言うことができる。	
8週		中間試験		
4thQ	9週	グループディスカッション①	テーマについて自分の意見を述べることができる。相手の意見を傾聴し、自分の意見を相対化できる。	
	10週	グループディスカッション②	テーマについて自分の意見を述べることができる。相手の意見を傾聴し、自分の意見を相対化できる。	
	11週	プレゼンテーション準備①	各グループでプレゼンテーションのテーマを決め、発表準備を進められる。	
	12週	プレゼンテーション準備②	各グループでプレゼンテーションのテーマを決め、発表原稿・資料を作成できる。	
	13週	プレゼンテーション①	グループで発見した対比をクラスに共有することができる。資料を作成できる。他のグループの発表を傾聴し、感想が書ける。	
	14週	プレゼンテーション②	グループで発見した対比をクラスに共有することができる。資料を作成できる。他のグループの発表を傾聴し、感想が書ける。	
	15週	期末試験		
	16週	解説・成績周知		
評価割合				
		試験またはレポート	提出物・小テスト	合計
総合評価割合		40	60	100
知識の基本的な理解		40	60	100